

## 第10回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和2年7月2日（木）17：00～19：00

2. 会場：危機管理防災センター本部会議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

川名 明彦 防衛医科大学校 教授

坂木 晴世 国立病院機構西埼玉中央病院専門看護師

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長

光武 耕太郎 埼玉医科大学国際医療センター 教授

4. 県側参加者

大野 元裕 知事

森尾 博之 危機管理防災部長

関本 建二 保健医療部長

星 永進 保健医療部 参事

本多 麻夫 保健医療部 参事

三橋 亨 県営競技事務所 所長

岸本 剛 衛生研究所 副所長

## 5. 主な意見

### ア 施設の使用停止等の再要請について

- 新規陽性者数は、緊急事態宣言が出る時に近い数値になりつつあるが、増加のペースがゆっくりである。また、どこに感染の震源地があるのか特定できているので、そこにフォーカスした対策を検討するべきである。(川名委員)
- 新規陽性者数だけを見ると確かに増えている印象があるが、増え方がゆるやかであるということと、入院される方々も割とスムーズに退院できているので、比較的入院のキャパシティに余裕がある。その部分も踏まえて、再要請を行うか否か、判断していくことが必要なのではないか。(坂木委員)
- クラスターの発生している箇所はある程度把握できているので、そこに対する対策を行いつつ、施設の使用停止等の再要請については、もう少し経過を見てから判断しても良いのではないか。(光武委員)
- 今は、再要請の検討の目安に該当する数値になっているが、比較的感染経路を特定できている。こうした状況が続けることができれば、自粛等の再要請の段階ではないのではないか。(松田委員)
- 仮に再要請を行う場合には、一律に施設の使用停止を求めるのではなく、どのような事業者を優先して要請するのか、はっきりさせることが一番重要ではないか。(金井委員)

### **【県の対応】**

- 医療提供体制に比較的余裕があり、感染が広がる原因も特定されていることから、専門家の御意見も踏まえ、現時点では、施設の使用停止等の再要請は行わない。
- 近日中に開催予定の第11回新型コロナウイルス感染症専門家会議に向けて、感染拡大の危険性があるところの絞った対策を検討する。

### ウ 競輪事業における有観客開催の再開について

- 競輪場で仮に陽性者が発生した場合に調査を行えるよう、来場者の氏名を確認し、名簿を作成する必要があるのではないか。(金井委員)

- 競輪場には、人が大勢集まるような場所があり、そのような場所は感染リスクが高いと思うので、気を付けてもらう必要があるのではないか。（川名委員、金井委員）

【県の対応】

- 「埼玉県営競輪における新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」を遵守することを前提に、競輪事業における有観客開催を再開する。
- 専門家の御指摘を踏まえ、来場者の名簿を作成する。